

平成28年度第1回競技委員会

平成28年6月17・18日(金・土)

愛知県名古屋市(ルブラ王山)

出席者…釜井、池田、根岸、伊勢、市ヶ谷、恒松、豊田、
平、和田、安藤、田熊、藤本、西垣

1・部長挨拶(釜井部長)

2. 大会開催関係

①平成28年全国高等学校総合体育大会(山口県；田熊)

☆プログラム編成会議の期日、場所、議事の確認

- ・短冊(個人・学校対抗)の色付き部分を変更した
- ・トーナメント、プールの規定枠を満たせない場合は、最後から減らしていくことを確認
- ・参加申し込み時のセキュリティーが高く、変換できない学校が多数ある。手打ち作業で対応している
- ・シード選手の確認、会議次第、参加者の確認
- ・技術委員に藤澤先生を追加

☆実施要項について

- ・配宿センター申し込み日付を追加した

☆練習会場について

- ・4カ所用意した。それぞれの会場について説明あり
- ・岩国市総合体育館武道場は審判器の使用不可
- ・武道場内の壁沿いに緑シートを敷いて荷物置場とする

☆競技会場について

- ・監督会議は、屋内ゲートボール場に変更した(空調が入らない)
- ・宅配受付は設置しない(業者の都合で設置できない)

→最後の2日間だけでも設置できないか?…検討する

- ・ピスト配置を確認
- ・開会式の座席配置について確認
- ・観覧席の1列目と2列目に荷物を置くことができないようにする

☆競技日程について

- ・ピスト番号は会場図に合わせる

☆競技役員編成について

- ・審判、ピスト主任、ピスト補助員の3名体制で行う
- ・ピスト指導員を3名追加する

☆競技について、罰則表、メンバー表、記録用紙、用具検査関係、式典次第(開会式、表彰式、閉会式)、駐車場について確認

☆配宿について

- ・広域配宿になる

- ・役員宿舎は、夕食が付かないためジェフグルメカード(1500円分)で対応する
- ・役員は、競技会場と宿舎間のシャトルバスを利用して欲しい
- ・本部宿舎は、グリーンリッチになる。朝食が別会場になる

②平成28年度全国高等学校選抜大会(山梨県；藤本)

- ☆期日、会場、交通アクセス、練習会場、会議場、宿泊関係等進捗状況について説明あり

③平成29年度全国高等学校総合体育大会(宮城県；齊藤)

- ☆期日、会場(競技会場・開会式会場)等進捗状況について説明あり

- ・視察時に検討課題となっていた用具検査場をトレーニングルームとする。室中のトレーニングマシンは他の場所に移動する
- ・サブアリーナに放送が入るようにした
- ・選手控え所には、空調は入らない

- ☆実施要項について

- ・申込み担当者が変更になった
- ・プログラム編成会議は、7月6日・7日。申込み締め切日を6月30日から6月20日に変更したい
- ・編成会議の日程が遅いのではないかと印刷関係は大丈夫か？
- 持ち帰って検討する
- ・振込先は未定、宿泊斡旋業者はJTBになる、諸会議日程、会場の確認、開会式の日のみ近隣の小中学校を練習会場にとしたい。
- ・用具検査実施日で7月31日のマスク検査ESを削除する

④平成29年度全国高等学校選抜大会(石川県；西垣)

- ☆期日、会場、日程等進捗状況について説明あり

- ・新幹線の開通以来宿泊価格が高騰している。斡旋業者は、東武トップツアーズになる

3.(公社)日本フェンシング協会ルール改正、違反と罰則について(伊勢)

- ①サーブルの構えの位置の変更については、9月1日より実施する
 - ②横の境界線を越えた場合の確認
 - ③フルーレの腕が剣を持っていない腕の肩より前に出ることの禁止の確認
 - ④100分の1秒に関する時間管理は、現状ファベロの審判器以外には対応できないので、当面は審判判断で行う
 - ⑤サーブルでトウシュ記録後の時間に変更になった。現状120mm/sが170mm/sに変更になった
- ・現在使用している審判器はロムチップの交換が必要なる。現在国内では、その反応時間を計測する機器がないので確認することもできない

※当面は、現状の審判器で試合を行うしかない。従って変更はしない。

⑤ サンプルグローブに関する規程変更

- ・ 800Nの保護レベルのグローブは、1万円を超える価格になる。日本フェンシング協会は、16年4月1日より実施を開始しているが、高体連では、来年度(17年4月)からの実施とする

⑥ 違反と罰則表について

- ・ 特に変更したところが無いので、それを確認した日付(2016年6月17日)を入れてインターハイで適用する

4. 全国選抜大会の参加料について(根岸)

☆3月の全国委員会で値下げを検討して欲しいと要望があり、当初原案として出された4万円を再度検証した。

- ・ 全国選抜大会を開催地の負担なしに運営するためには570万円程が必要になる。
- ・ 実際は、全国高体連で専門部役員旅費約150万円を補助として出しているのので、約700万円が必要になる。専門部からの補助はこれ以上できない
- ・ 参加費を減額すると開催地の負担がその分増えることになる。また開催地によっては審判関係旅費がもう少し高くなる事も考えられる。以上の点から原案通り4万円の参加料が妥当だと考える

※原案通り4万円の参加料で再度提案する。その際、根拠をしっかりと示して説明する

5. その他

① 登録について(和田)

- ・ 今年度からメールのやり取りで登録を行う方式に変更した。現状では特に問題はなかった

② フランス研修について

- ・ 昨年は、テロ事件の影響を考えて中止した。本年度は昨年からの準備もあるので再度実施したい
- ・ テロの影響が心配されるが？

→海外では、テロ事件を中止理由にするとテロに屈したと見なされるため、これを理由としての中止は通じない

- ・ 継続して計画してきた事なので、実施してはどうか
- ・ フランス側の受け入れはできている

※競技委員会は、研修について決定権を持っていないが、常任委員の多くが賛同していると受け止め、実施したい

③ 選抜大会におけるルール変更に伴う規約規程集の改訂について

☆岩国選抜大会にて、選手交替のルール変更が適用されたため、規約規程集 補則6 大会の「競技について」の 2 全国選抜大会の規定変更案

が出された

(変更案)

- ① 監督はプレジダンに対し、メンバー表提出時にリザーブに指定した選手と他の1選手との交替を請求できる。
- ② この場合、被交替選手は1試合(個人)を終了していなければならない。
- ③ 選手交替は、当該試合の1試合前までに監督がプレジダンに通告しなければならない。
- ④ 被交替選手は、その試合(学校対抗)にもう一度交替した選手と交替することができる。ただし、事故や避けられない状況による2度目の交替は認めない。

※上記変更案が承認される